

CLOSE UP 京滋の 元気企業

独自の技術力を基盤とし、高精度・高耐久性製品を提供

(株) 京都マテリアルズ

高い技術力を評価され、京都市ベンチャー企業目利き委員会のAランク企業認定を受けている(株)京都マテリアルズ。同社の代表取締役山下正人博士に今後の取り組みを聞いた。

—— 設立の経緯は

当社は、大学の研究室で培われてきたマテリアルズサイエンスを利用して、表面改質技術や精密金型設計技術などの独自技術を用いた製品の実用化を目指して、2012年（平成24年）2月に設立しました。現在も研究開発は、大学の研究者が中心となっています。

—— 貴社の事業内容は

耐摩耗性が高く精密な金型を製造する精密マテリアル事業部と、鋼材等の腐食を防ぐための技術開発と実用化を進めている環境マテリアル事業部の2事業部があります。

まず、精密マテリアル事業部。こちらでは、金属・合金材料一般から合金工具鋼、超硬合金などの硬質材料を1ミクロン・オーダーの精度で加工をします。また、電子部品メーカーなどに自社技術を用いた超硬精密金型を製造販売しています。独自の最先端表面改質や耐久性向上技術が導入されており、セラミックグリーンシート、焼結セラミックシート、硬質材料シート、粉末成形セラミックなどを精密に加工することが可能です。

次に、環境マテリアル事業部では、自社開発の反応性塗料「Patlna Lock」を利用した、鋼材等の腐食を防ぐための技術開発と実用化を進めています。「Patlna Lock」は、鋼材表面に塗布することにより、環境中の水や酸素と反応して良質なさびを生成し、鋼材の耐食性を飛躍的に向上させることができます。

—— 貴社の強みは

自社開発の反応性塗料「Patlna Lock」により、当社は2013年3月に京都市ベンチャー企業目利き委員会Aランク企業の認定を受けました。さらに、今年4月には第26回中小企業優秀新技術・新製品賞（優秀賞・環境貢献特別賞）を、7月にはASIAN ENTREPRENEURSHIP AWARD 2014でIntel賞を受賞するなど技術的に高い評価を得

ています。また、2014年9月に京都市の公共工事に試験採用されるなど実用化は進んでおり、今後もさまざまな商品への活用が期待されます。

—— 今後の展開は

精密マテリアル事業部では、今年4月に綾部ハイテック工場で製造を開始し、精密金型の工程を内製化することができ、生産量も約2倍に増加しました。環境マテリアル事業部では、電力会社向け鉄塔への「Patlna Lock」の適用を開始し、安定した受注を目指しています。「Patlna Lock」は鉄鋼材料の耐食性を飛躍的に向上させるため、電力会社や建設会社において橋梁や鉄塔などの公共工事や建築分野での実用化を目指しています。

今後は、さまざまな研究から得られた知識をより広範囲な分野へ応用し、また大学などの研究室で見出されてきた知見とそこで培われた技術資源を融合して、人々の生活を豊かなものになりたいと思っています。そのためにも、積極的な市場進出を考えています。

(京都支店 調査2部 財務アナリスト 齋藤 英則)

会社概要

事業内容：高精度・高耐久性を有する精密金型および防食技術の研究・開発・製造およびコンサルティング

所在地：京都府京都市西京区御陵大原
1-39
京大桂ベンチャープラザ南館
2102

資本金：900万円

設立：2012年（平成24年）2月

従業員：17名（2014年9月現在）

(URL) <http://www.kyoto-materials.jp/>

TDB企業コード：313005951